国交正常化45周年　中国特集

パンダの故郷、五つの世界遺産 中国四川省

2017年は日本と中国の国交正常化45周年。そして今年は両国の平和友好条約締結40周年だ。記念の年を迎え、両国でさまざまな記念事業が行われているほか、日本の観光客誘致に向けた中国の省や地域ごとのPRも盛んだ。今回の中国特集は、日中友好の証「ジャイアントパンダ」が生息し、五つの世界遺産を抱える四川省にスポットを当てた。

古の巴蜀文化を感じ、奇山異水の風景に感動

成都

三国志「蜀」の都 縁の文化息づく

四川省は中国西南の内陸、チベット高原の東部に位置する中国で2番目に大きな省（自治区を含めると5番目）で、面積48万6千平方㌔（日本の約1・3倍）。人口9070万人。

古名は巴蜀（はしょく、巴は現在の重慶、蜀は現在の成都を中心とした地域）といい、劉備玄徳や諸葛亮孔明が活躍した三国時代の蜀国ゆかりの文化が今も息づいている。麻婆豆腐など激辛な四川料理も日本でなじみが深い。

かつての蜀国の都で省都の成都は人口1500万人の大都市だが、いにしえの巴蜀文化を体感できる史跡や、省内に五つある世界遺産のうち二つを抱える観光都市でもある。

●武侯祠

蜀国を建国した皇帝・劉備や軍師・諸葛亮をまつる祠。中国で最も大きな三国遺跡博物館、三国志の聖地といわれる。

劉備らの像や、関連資料を展示する。

●金沙遺跡博物館

成都市の近郊、金沙村で2001年、古代巴蜀の文物が大量に発掘された。その出土品を展示している。

出土品は金器30、玉器と銅器各400、石器170、象牙器40点などで、このうちの金の「太陽神鳥」は、現在の中国文化遺産のシンボルマークとなっている。

●成都ジャイアントパンダ繁殖研究基地

ジャイアントパンダをはじめとする希少動物を保護、研究する基地。

自然を利用した研究基地で、レッサーパンダ、オシドリなどの希少動物、鳥類も飼育する。

青城山と都江堰

成都市郊外、都江堰（とこうえん）市にある「青城山と都江堰」は2000年、「青城山と都江堰」として

青城山

ユネスコの世界文化遺産に登録された。

●青城山

成都市街地から65㌔、成都平原の北西に位置する山地で、道教発祥の地の一つとされる。山上に自然と融合した道教の寺が10余り、さまざまな様式の亭、橋、回廊、閣が40余りあり、ここから美しい景色を眺めることができる。

寺院群の一つ、上清宮は

都江堰

道教発祥地、山頂の絶景 2200年前建造の水利施設

青城山で最も高所にある寺院。晋代に創建され、一時廃れたり、消失したりしたが、清の時代に再建された。

●都江堰

成都平原の西部、珙江（みんこう）中流にある水利施設。今からおよそ2200年前、中国の戦国期に建造された世界で最も古く、唯一保存されているダムのない水利施設。

川の氾濫を防ぐため、蜀郡の太守・李氷とその息子・李二郎が多くの人手を使い、建造したとされる。

都江堰は「魚嘴（ぎょし）」「飛沙堰」「宝瓶口」の三つの施設からなる。魚嘴は川の真ん中に建造された分水堰堤で、川を外江と内江に分離する。外江は川の本流として洪水を下流へ排出。内江は水量を調節・制御する飛沙堰や宝瓶口を通り、かんがい用の水として平原に流れる仕組み。

景勝地として多くの人に注目されるとともに、その建造技術の高さに驚く専門家も多い。

ジャイアントパンダ保護区

世界の30％が生息

四川省のジャイアントパンダ保護区」としてユネスコの世界自然遺産に登録された。12の県、県級市にわたる総面積9245平方㌔の一帯で、世界に生息するジャイアントパンダのおよそ30％がこの保護区にいるといわれる四つの峰の景色が美しい二郎山。

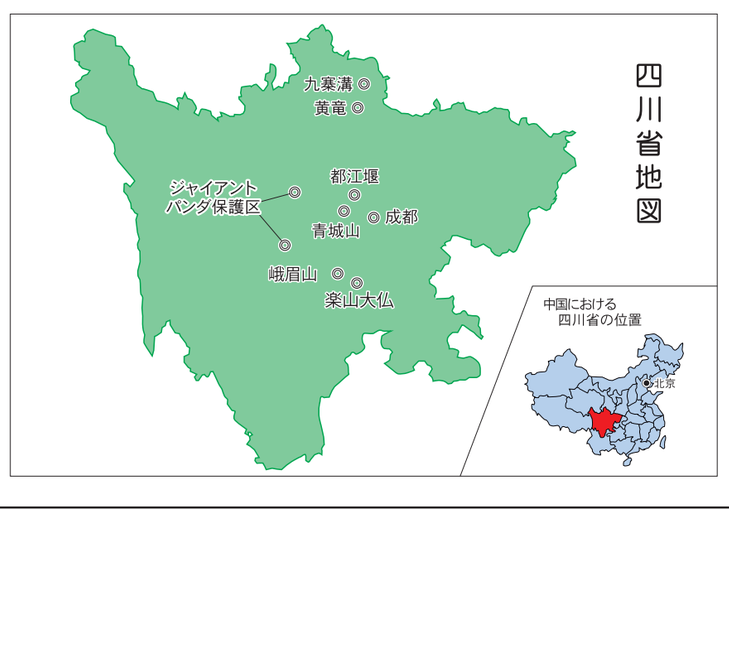
ジャイアントパンダ

ほかの世界遺産登録地域は、自然保護区が蜂桶寨、自然保護区・風景名勝区が青城山―都江堰、天台山、西岳華山、自然保護区の西側に位置する四姑娘山自然保護区・風景名勝区（アバチベット族チャン族自治州小金県）は臥龍自然保護区の西側に位置し、1年間氷と雪に覆われる四つの峰の景色が美しい。

四川省の7カ所の自然保護区、9カ所の風景名勝区が2006年、「四川省のジャイアントパンダ保護区」としてユネスコの世界自然遺産に登録された。12の県、県級市にわたる総面積9245平方㌔の一帯で、世界に生息するジャイアントパンダのおよそ30％がこの保護区にいるといわれる。

自然保護区の一つ、臥龍自然保護区（アバチベット族チャン族自治州汶川県）はパンダの本格的な保護活動が始まった1963年、初のパンダ保護区として指定を受けた。ジャイアントパンダをはじめ、キンシコウなど希少動物の繁殖場や観察所、博物館が設けられている。

四姑娘山自然保護区・風景名勝区（アバチベット族チャン族自治州小金県）は臥龍自然保護区の西側に位置し、1年間氷と雪に覆われる四つの峰の景色が美しい。



九寨溝

エメラルドブルーの湖と幾重にも重なり流れる滝

九寨溝（五花海）

九寨溝（きゅうさいこう、アバチベット族チャン族自治州九寨溝県）は四川省最大の見どころで1992年に世界自然遺産に登録された。エメラルドブルーの湖、幾重にも重なるように流れ落ちる滝と、その稀有な風景が訪れた人々を魅了してやまない。

標高2千～4300㍍の高地にある峡谷で、一帯に九つの寨（山村）があることからこの名が付いたという。720平方㌔の風景区に118の湖沼、17の瀑布をはじめ、渓流、森林と、変化に富んだ景色が広がる。

宝鏡崖、樹正、日測、原子森林、長海という五つの景区で構成。

このうち、日測景区にある五花海は海子と呼ばれる堰止湖の一つで、九寨溝最大の名所。カルスト地形の石灰成分が湖底に沈殿し、湖に沈む植物や光の加減で水面が美しい色に彩られる。

同じ日測景区の「珍珠灘瀑布」は幅310㍍の大きな滝で、最大40㍍の落差を流れ落ちる滝の音が雷のように聞こえる。

樹正景区の「諾日朗瀑布」は高さ30㍍、幅100㍍と、珍珠灘滝に次ぐ規模の大きな滝。

黄竜

カルストの美しい景色

黄竜（五彩池）

黄竜（アバチベット族チャン族自治州松潘県）は岷山山脈の主峰、雪宝頂の東北に位置する標高3千㍍超の高地にある峡谷。1992年、九寨溝とともに世界自然遺産に登録された。九寨溝と同様、美しい色の水をたたえる池を中心にこの世のものとは思えないほどの景色が広がる。見どころのメインとなるのは、全長7・5㌔の峡谷、黄竜溝の奥に位置する五彩池。カルスト地形の石灰華（トラバーチン、温泉の湯層。黄金色に輝く竜の背中のように見えることから、この名が付いたという。

山は標高3099㍍。山頂近く、標高3077㍍地点の聖地「金頂」にある華蔵寺をはじめ、報国寺、伏虎寺、清音閣、万年寺と、山中に後漢時代から建造された多くの仏教施設がある。

●楽山大仏

珙江に面した断崖に掘られた高さ71㍍の、世界に現存する最も大きな石刻仏像。

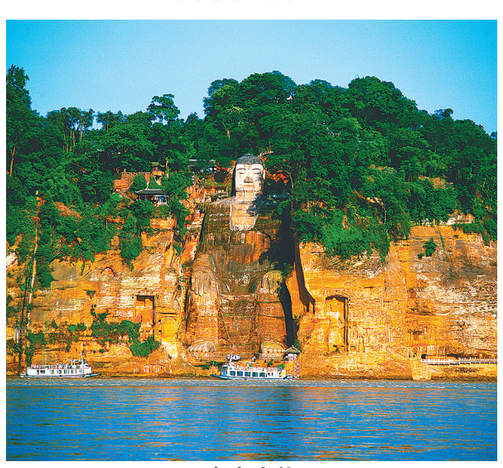
頭部が長さ14・7㍍、幅10㍍あり、頭頂の渦巻き型に結った髪の一つひとつにテーブルが置けるほど。耳の長さは7㍍、足の幅は9㍍ある。山西省の雲岡（うんこう）石窟で最も大きな大仏の3倍の高さというから、そのスケールの大きさに驚かされる。

唐の時代、凌雲寺の僧、海通が珙江の水害をしずめるために建造を思いついたとされる。大仏は珙江と大渡河、青衣江が合流する、川の氾濫が起きやすい場所に造られた。713年から90年の歳月をかけて、803年に完成した。

峨眉山と楽山大仏

中国四大仏教名山の一つ 世界で最も大きな石刻仏像

峨眉山（金頂）


楽山大仏

中国四大仏教名山の一つ、峨眉山（がびさん、峨眉山市）と、楽山（楽山市）の楽山大仏が1996年、「峨眉山と楽山大仏」として、世界複合遺産に登録された。

●峨眉山

五台山（山西省）、普陀山（浙江省）、九華山（安徽省）と並ぶ中国仏教の聖地。「山全体の形が少女の眉毛に似て細長く、美しくあでやかである」ことからこの名が付いたという。

山は標高3099㍍。山頂近く、標高3077㍍地点の聖地「金頂」にある華蔵寺をはじめ、報国寺、伏虎寺、清音閣、万年寺と、山中に後漢時代から建造された多くの仏教施設がある。

●楽山大仏

珙江に面した断崖に掘られた高さ71㍍の、世界に現存する最も大きな石刻仏像。

頭部が長さ14・7㍍、幅10㍍あり、頭頂の渦巻き型に結った髪の一つひとつにテーブルが置けるほど。耳の長さは7㍍、足の幅は9㍍ある。山西省の雲岡（うんこう）石窟で最も大きな大仏の3倍の高さというから、そのスケールの大きさに驚かされる。

唐の時代、凌雲寺の僧、海通が珙江の水害をしずめるために建造を思いついたとされる。大仏は珙江と大渡河、青衣江が合流する、川の氾濫が起きやすい場所に造られた。713年から90年の歳月をかけて、803年に完成した。